

あなたの声を社会へ 世界へ 組合はあなたがつくれます

都教組八王子支部

都教組八王子支部ニュース No.3 2023/5/11

八王子支部ニュース

Tel : 042(623)1141 Fax : 042(627)8741

E-mail : sensei@tokyoso-hachioji.com & hachioji-tu@nifty.com



HP



e-mail

深刻な教員不足について

市教委に再度の申し入れを行いました。

昨年度末の3月20日、都教組八王子支部は深刻な教職員等の不足を改善するよう市教委に申し入れを行いました。残念ながら、今年も年度初めから「副校長先生がいない。」「1年間休職する人の後に、専任の先生が来ない。」「病気休暇の先生の分、時間講師がいなくて、授業ができない。2クラス合同でテレビ中継の授業をするしかない。」「病気休暇の後、退職する意向の先生の分でも、専任の教員は来ないのか。」「算数少人数の先生がいない。」「主幹の時間軽減がない。教務主幹の持ち時数が多いたいへん。小規模校でも時間軽減は確保すべき。」「新採のあと補充がない。」「近隣の学校で時間講師が不足というので、専任の先生が週一回その学校に行かなければならなくなった。定期考査や評価はどうするのか。」「非常勤職員や時間講師で、頭数としては、授業ができるはずだが、曜日が限られ、時間割を組めない。」などの声が職場から支部へ次々と寄せられました。すでに解決済み、解決の見通しが出ている件もありますが、年度当初に万全の体制でスタートできなかったことは、教職員の負担を増しただけでなく、児童生徒、保護者や地域の方々にも不安をもたらしたケースもあります。これから、専任の教員が少ないままスタートして、授業だけはかろうじて成り立っていても、分掌など全体の仕事はぎりぎり進めていて、無理が重なり、年度途中の病気休職などでさらなる欠員が起きることも心配されます。本来東京都の責任で解決するべきものですが、この実態を東京都に伝えるとともに、市教委としても早急な対応をするよう5月2日付けで要望書を提出しました。また、以下6項目について3月に引き続き再度要請しました。

1. 教育長答弁(3月3日八王子市議会)にある「年度途中においても、退職や産休・育休を取得する教員の代替を、市でも募集し名簿登載を行う中で、各学校に対して情報提供をする」活動をさらに強化すること。
2. 退職・病気休職・産休・育休の代替教員が見つからない場合も、放置せず、時間講師を配置するなど、きめ細かい対応をすること。
3. 東京都に対して、欠員補充ができる体制を作るよう要望すること。
4. 各校の管理職に対し、退職や産休・育休・病気休職者の後補充ができない事態と、そのために起きている教育活動上の問題、教員の過剰労働の問題などを軽視せず、速やかに、事細かに市に報告するとともに、管理職自身が補教や給食指導、学級指導に入ることを含めた必要な手立てを講じるよう指導すること。
5. 市の責任で雇用できる「小中一貫担当教員」などを、年度途中であっても、必要な職場に配置すること。
6. 市で配置できる副校長補佐・学校サポーター・スクールサポートスタッフ、特別支援教室の指導補助員などの人員を、さらに大幅に拡充すること。

・三多摩メーデー(5/1)

・憲法集会(5/3)

お疲れさまでした



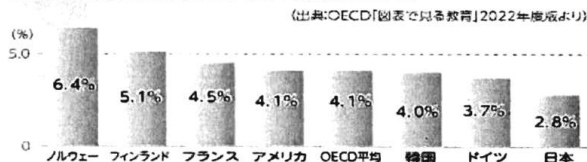
八王子支部より7名の参加

井の頭公園にて

深刻な教員不足と「えがお署名」

どちらも根っこは同じ 日本は異次元の低予算

●公財政教育支出の対GDP比(2019年)



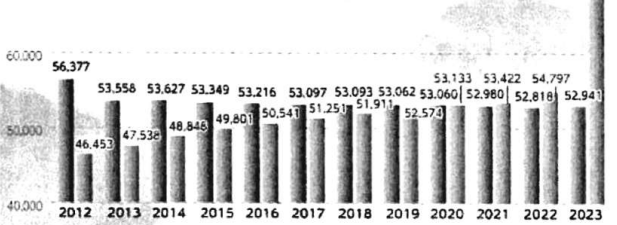
軍拡予算を増やすよりも教育予算をひき上げて、全ての子どもへの“教育への権利”を保障してください。

●文科予算と防衛予算の推移(各年度の当初予算額で作成)

(億円) ■ 文部科学省予算 ■ 防衛省予算

●文科予算と防衛予算の推移(各年度の当初予算額で作成)

(億円) ■ 文部科学省予算 ■ 防衛省予算
[出所]各年度の当初予算額(文部科学省、防衛省)



えがお署名に取り組みましょう

各職場に『えがお署名』を送りました。グラフからもわかる通り、とても日本は先進国とは言えません。みんなの一筆が大きな声となり歴史を動かすのです。署名を、お隣の一人からでも前に進めましょう。

もっと知ろう! 活用しよう! 組合の銀行 労働金庫

短期連載 2

今回は、労金の各種ローンについてご紹介します。さて、私たちの生活で大きな出費が必要になるのはどんな場合でしょうか。前回お話しした住宅ローンのほかに、結婚、子どもの教育、自動車免許の取得や自動車の購入などがあります。そんな時、個人向け融資＝ローンを活用するという方法があります。必要に応じて、労金には低利で融資を受けられる様々なローンがあります。

- ① 住宅ローン 最高1億円 最長35年
不動産担保(購入する住宅が担保)
※すでに別の住宅ローンを返済中の人も、「借りがえ」で負担を減らせる場合があります。
- ② カーライフローン 最高1000万円 最長10年 無担保
- ③ 教育ローン 最高2000万円 最長15年 無担保
- ④ カードローン 借入限度額 10万円から500万円
1年ごとの自動更新 無担保
- ⑤ 家計応援ローン 最高50万円 最長10年 無担保

(1)～(3)は、組合員の方は一般の方より金利が安くなります。(4)と(5)は、組合員限定です。一般の方は利用できません。特に(5)は、最近の物価高騰に対応して緊急に設けられ、都教組八王子支部と中央労働金庫八王子支店の間で特別に協定を結んで成立した、今のところ今年度限定の制度です。なぜ組合員だと有利なのか? 前回ご説明したとおり、組合費を支払うことで、間接的に「出資者」になっているからです。次回は財形貯蓄や普通預金口座のメリットなどをご紹介します。

直接のご質問・ご相談は中央労金八王子支店
電話 042-642-4141 ファックス 042-646-6204
渉外担当 古閑(こが)さんまで

由井地区教育懇談会

・日時 5月14日(日)
10時～12時

・場所 片倉記念館 JR片倉徒歩1分

110回都教組大会

・日時 5月20(土) 13時半

・場所 エデュカス ※オンラインあり

どうなる?

新しい小学校教科書

今年度の小学校教科書採択に向けて

・日時 5月28日(日)

14時～16時半

・場所 北多摩西教育会館 JR国立徒歩5分

八王子支部大会

・日時 6月7日(水)

18時～19時半

・場所 由井市民センター みなみ野分館

支部大会参加票の提出

5月26日(金)まで

支部へお願いします。